



とととPROJECT

～ここをつなぐ感謝のしるし～

売上の一部を新型コロナウイルス感染症への対応にあたる医療現場への支援金として寄付いたします。



とととPROJECTの新商品 マスクケース LIMEX 抗菌加工 (内側のみ)ダブルポケット型が発売となります！
LIMEXとは石灰石を主原料とし、紙・プラスチックの代替となり、持続可能な社会に貢献する日本発の新素材です。

【サイズ】 幅115mm (半分に折ったサイズ) × 高さ227mm
【商品情報】 本体:LIMEX (ライメックス) 表面:UV印刷
内側:抗菌加工

とととPROJECT マスクケース (1つ) **1,000円** (税・送料込)



京都発

京都本社の女性を中心に

オンデマンド班誕生

「あったらいいな」をカタチにする。そんな発想から、京都本社の女性を中心にチームが誕生しました！ミーティングも楽しみながら提案をしています。



また、再利用や寄付などについても考えていきたいと思っています。

たとえば、**接種済ステッカー**



スーツにも◎ エプロンにも◎ 作業着にも◎ 普段着にも◎



今後も様々な商品を企画して行きたいと思っておりますので、宜しくお願いします！



(編集:吉田)

Heart Wallpaper Project
ハートウォールペーパープロジェクト

ハート・アートクッションカバー

クリスマスキャンペーン

予告

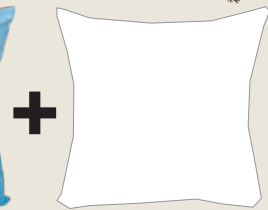
販売代理店 in 名古屋 王山 tane

ハート・アートクッションカバー販売代理店であるtaneさんで、クリスマス期間中にハート・アートクッションカバーをご購入の方にクッション本体をプレゼントする「クリスマスキャンペーン」を現在計画！キャンペーン期間につきましては、SNS等で発信予定なのでFacebook、Twitter、Instagramを要チェックです!! (編集:中野)

キャンペーン内容の例



ハート・アートクッションカバー (両面別作品印刷) 両面に使用した作品のポストカード付



45cm クッション本体



インテリジェンス

画・Relax



FOCUS フォーカス 第6回

「一寸法師の身長は？」

彼は、お椀の船に乗って旅立つ。さて彼の身長は？

一寸法師という単位が日本独自にある。「寸・尺・間」などの単位だ。私はメートル法で育ったと思う。寸という単位は、当社に入社して出会った。すぐには慣れない感覚。「3」のどれかとは覚えている。3cmなのか30cmなのか。こんな時、一寸法師を思い出せば、お椀に乗るには3cmの身長が適している。

一寸法師の物語を知らない日本人は少ないだろう。

さて、尺貫法はアメリカのフィートなどのヤードポンド法と似ていて、身体のサイズが基本になっている。手のひらの親指から小指までが約15cm。これの2倍が尺(30cm)になる。

この尺寸は建築業界でよく使われ、イベント業界や映像業界(時間の長さ)などでも使われる。国際基準であるメートル法は10の倍数なのだが、尺寸は計算しづらい。日本では1992年(平成4年)に完全にメートル法が計量の基準として計量法という法律が決まった。

国内でインチや寸、センチと共存し混乱するが、何となく過ごせているのは人間の曖昧さかもしれない。(編集:岡本)



コラム「めっちゃいいあそこ」

先日、低山愛好会のメンバーで曾爾高原(そにこうげん)の俱留尊山(くろそやま)に行ってきました。場所は吉野山と伊勢の間くらい。地ビールや温泉があるとの情報で、電車移動にすることに。

しっかり登山スタイルで、登山靴を履いてリュックを背負って行ったのですが、あいにくの天気で俱留尊山は雲の中。無理をしないスタイルのグループなので、さっさと下山することに。途中までの展望場所までは、運動靴やスカート、犬連れの観光客だらけで、登山スタイルが浮く浮くまあ致し方ないので、気にせず下山して温泉と地

ビールへ。

これがなんと最高で、レストランの出でくる食材の美味しいこと!もちろんビールも美味しく、温泉もとろみがある山の温泉らしい泉質。大変満足して帰ってきました。曾爾高原。

登山無しでも十分楽しめて、また行きたい場所でした。あー美味しかった～



ススキだらけ

(京都営業所:岡本)

編集後記

寒くなってきたので、自宅にファンヒーターを購入するべきか悩んでいる編集長の中島です。フォトコンテスト「身近な秋」は楽しんでいただけたでしょうか。木々が色づき始め秋が深まりつつあり、人が恋しくなる季節でもありますね。大切な人と「身近な秋」を探しにお散歩してみてください。どうか。

次号

次号は、多くの人を楽しませるイルミネーション装飾や嵐山○○○の風車装飾など、最近の装飾現場の数々をお伝えできたらと思います。どうぞご期待ください。

(校閲:大泉ひ)



※記事で敬称略